

まち特派員 かど のページ



こうかまちかど
特派員
あだち
安達みのり



▲わいわい甲賀交講座の風景

**わいわい甲賀交講座が
まちづくりの一步**

まちづくりに取り組もうとする人材の育成を目的に、平成25年度から開催されている「わいわい甲賀交講座」。講義やグループワーク、先進地研修など全7回のプログラムを通じて「まちづくりの最初の一步」を踏み出すきっかけづくりの場となっています。

平成25年度の受講生からは、思いを同じくするメンバーが集まって3つのプロジェクトチームが誕生しました。その一つが、市民団体の繋がりを交流を目的とする「地域交流チーム」です。

私は、地域の親子が気軽に集い、繋がりを、交流できる場を作ろうと、子育てサークル「CHEERS STATION」として活動しています。今、私たちのようなサークルや、市内で活動・活躍する人、団体の間で少しずつ連携が始まり、甲賀の新しいまちづくりが動き始めています。

これからどんどん熱くなる 甲賀のまちづくり ～繋がります 甲賀で活躍・活動する市民活動団体～

「繋がるMAP」で連携を強めたい
プロジェクトチームの活動は、「わいわい甲賀交講座」修了後も継続され、まちづくりの為にスキルアップ講座やワークショップを受講生自らが企画・運営されています。

地域交流チームでは、東近江市で先進的に行われている「魅知普請 曼茶羅」という取り組みに着目。地域で活動する団体を図上に「見える化」することで、どこで・だれが・どのよう活動をしているのか、一目で分かるため、活動団体の連携にたいへん役立っているそうです。

甲賀市でもこのようなマップの必要性を感じた地域交流グループでは、今後「繋がるMAP」づくりに取り組み、地域団体の連携を強めていきたいと意気込んでおられます。



▲東近江市の「魅知普請 曼茶羅」

連携による相乗効果に期待

熱い思いを持つ人や団体が出会い、繋がることで相乗効果が生まれつつあります。その繋がりが大きく膨らむことで、甲賀市全体がどんどん熱く盛り上がるのが期待されます。

まちづくりや市民活動に取り組んでいる方や興味のある方は、ご紹介した講座や、地域交流チームの取り組みに参加してみたいかがでしょうか？

「わいわい甲賀交講座」のお問い合わせ
地域「コミュニティ推進室」
☎65-00687 / ☎63-44554



地域防災に備えて ●水口地域市民センター



▲丁寧にレンガを積む作業(城山中学校)

みなくち自治振興会の安心・安全委員会が、「防災かまどベンチ」を2次避難所の水口小学校(3基)、城山中学校(2基)、水口北保育園(1基)、水口東部・北部コミュニティセンター(各1基)に設置されました。これらのベンチは、同委員会が毎年度開催されている「防災リーダー育成講座」の継続事業の一環で、多くの参加者の手によって製作いただいたものです。

今後、非常時にはもちろんのこと、地域の防災訓練などでの利用が期待されています。



▶みんなで協力して夕食の準備

この合宿は、小学生が自分たちで身の回りのことをしながら学校へ通うというもので、子どもたちの自主自立を促し、地域の方とのふれあいを深める目的で、4年生から6年生の21人が参加し、夕食の準備や片づけをしたり、宿題をしたり、レクリエーションを楽しんだり、充実した合宿となりました。

ヒツジに迎えられ初もうで

●甲南第一地域市民センター

毎年、年越しの和太鼓演奏などで賑わう矢川神社(甲南町森尻)の初もうで。今年は元旦から六日までの間、二頭のヒツジが参拝される皆さんをお迎えしました。この二頭は、今年の干支にちなんで、成田牧場(甲南町新治)から出張してくれたそうです。

思わぬ出迎えに、撮り初め、写り初めてと記念写真をパチリ。大雪で寒さ身に染む年の初めに、心とませてくれる「コマでした」。



▲干支のヒツジとともに記念写真

桜よ、大きくなあれ ●鮎河地域市民センター



▶植樹作業に汗を流す参加者

横尾橋付近の野洲川沿いで11月21日、「鮎河の桜を守る会」が中心となり、桜の植樹を行いました。

この植樹は、株式会社ジーテクトさんから「生き物多様性活動事業(CSR)」の一環として、ソメイヨシノの苗木を寄贈していただき実施したものです。当日も、数名の社員の方が植樹に参加され、地元有志とともに汗を流されました。

数年後には、川沿い一面に美しい花が咲くことを祈るばかりです。

くもい通学合宿

●雲井地域市民センター

雲井自治振興会では、12月4日から2泊3日の日程で、雲井地区農村活性化センターと牧公民館において、通学合宿が行なわれました。